



MS404-52001

グラウンドイルミネーション

取付・取扱要領書

この度はアクア用グラウンドイルミネーションをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本書は上記グラウンドイルミネーションの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

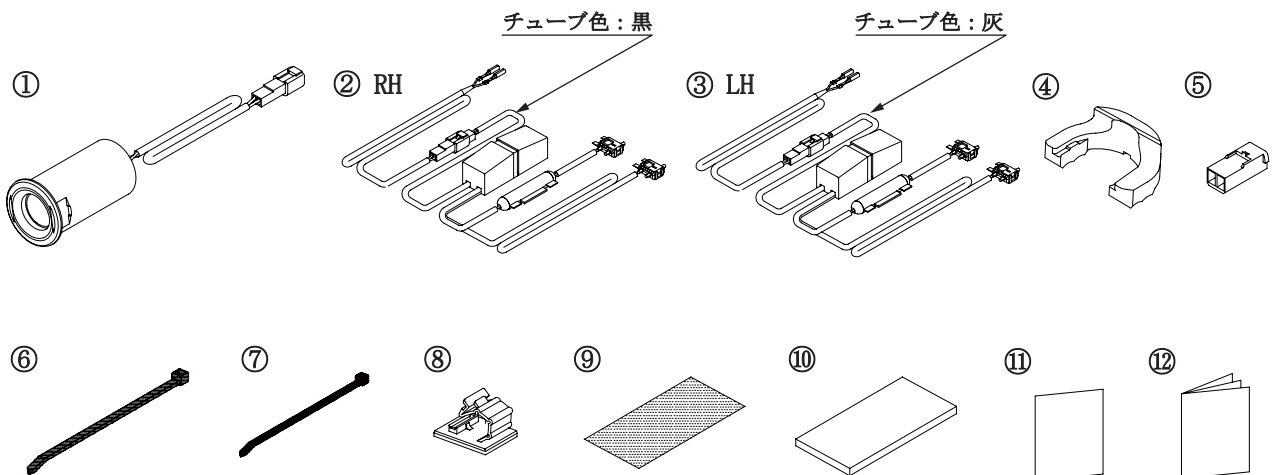
★本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付は車両登録後に行ってください。

### ■品番・適合一覧表

品番	備考
MS404-52001	AQUA 2011.12～




### ■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	ランプ Assy		2	
②	ユニットケース Assy (RH)		1	
③	ユニットケース Assy (LH)		1	
④	ランプホルド		2	
⑤	ハウジング		2	
⑥	結束バンド (大)		2	
⑦	結束バンド (小)		36	
⑧	シェルクリップ		6	
⑨	プロテクトシート		2	
⑩	ウレタンフォーム		2	
⑪	型紙		1	
⑫	取付・取扱要領書		1	



















## ■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全な作業をしていただく為に、特にお守りいただきたいことなどを、次のマークで表示しています。

 <b>警告</b>	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重症等を負う可能性がある内容について書かれています。
 <b>注意</b>	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物損障害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 <b>アドバイス</b>	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

**確認** 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

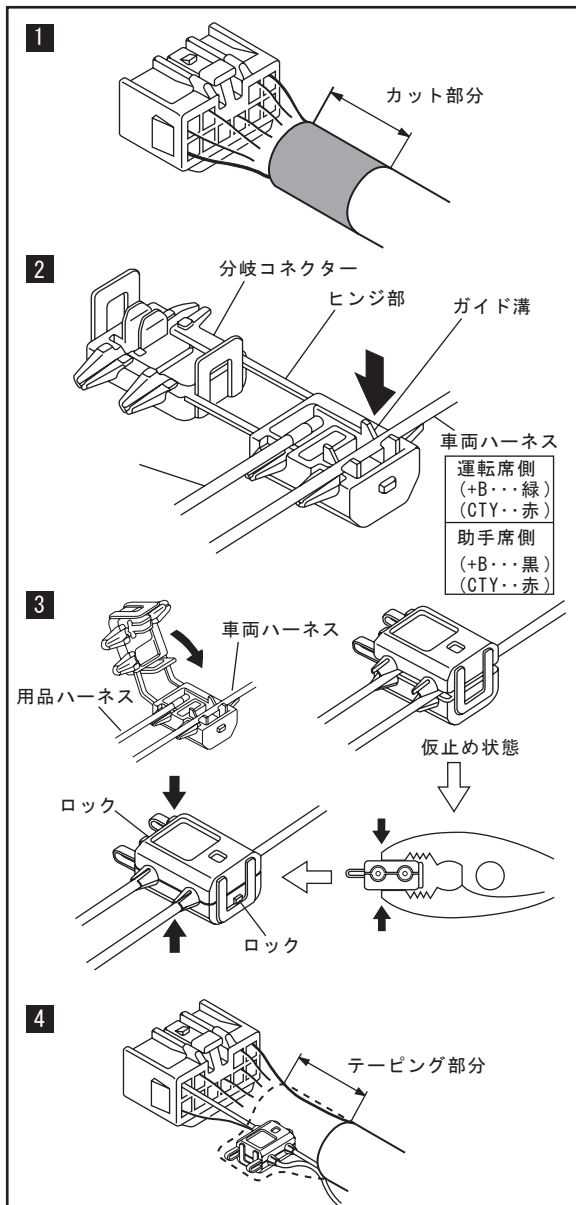
-  **警告** 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け作業後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路走行の際は十分に速度を落として走行してください。
-  **警告** 本商品には十分は強度、耐久性を持たせてありますが保管、取扱い、走行等の条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付け作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **警告** 本商品は各構造基準に適合しており、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし、適合車種以外に装着した場合、またその他の部位を改造しているなどの使用条件によってはその限りではありません。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は、必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業してください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取外しに際し、スクリーンの紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** 車両部品の脱着およびグラウンドイルミネーションの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

## ■分岐コネクタの接続方法

### 分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2ヶ所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 車両ハーネスの線色を良く確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2ヶ所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

### 分岐コネクタの接続手順



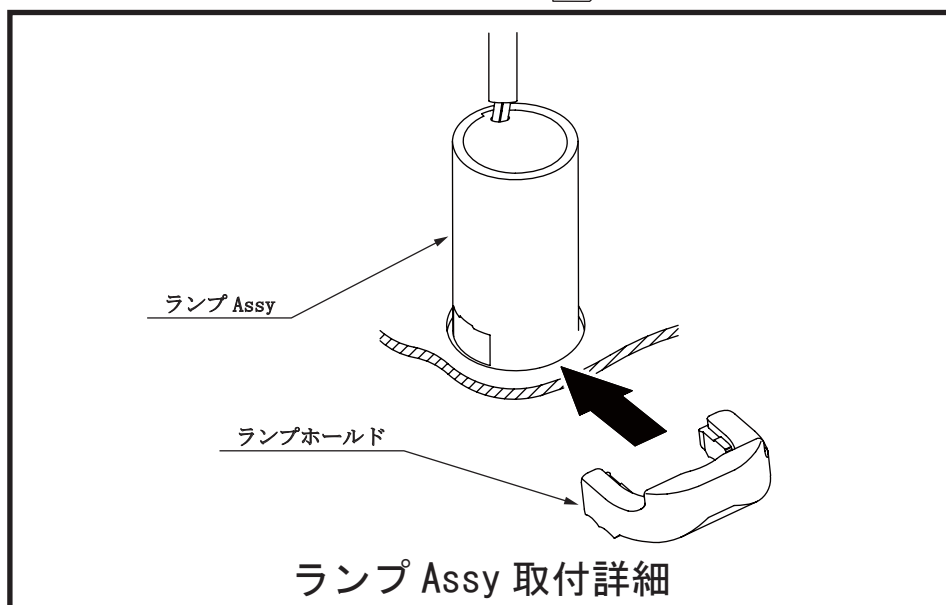
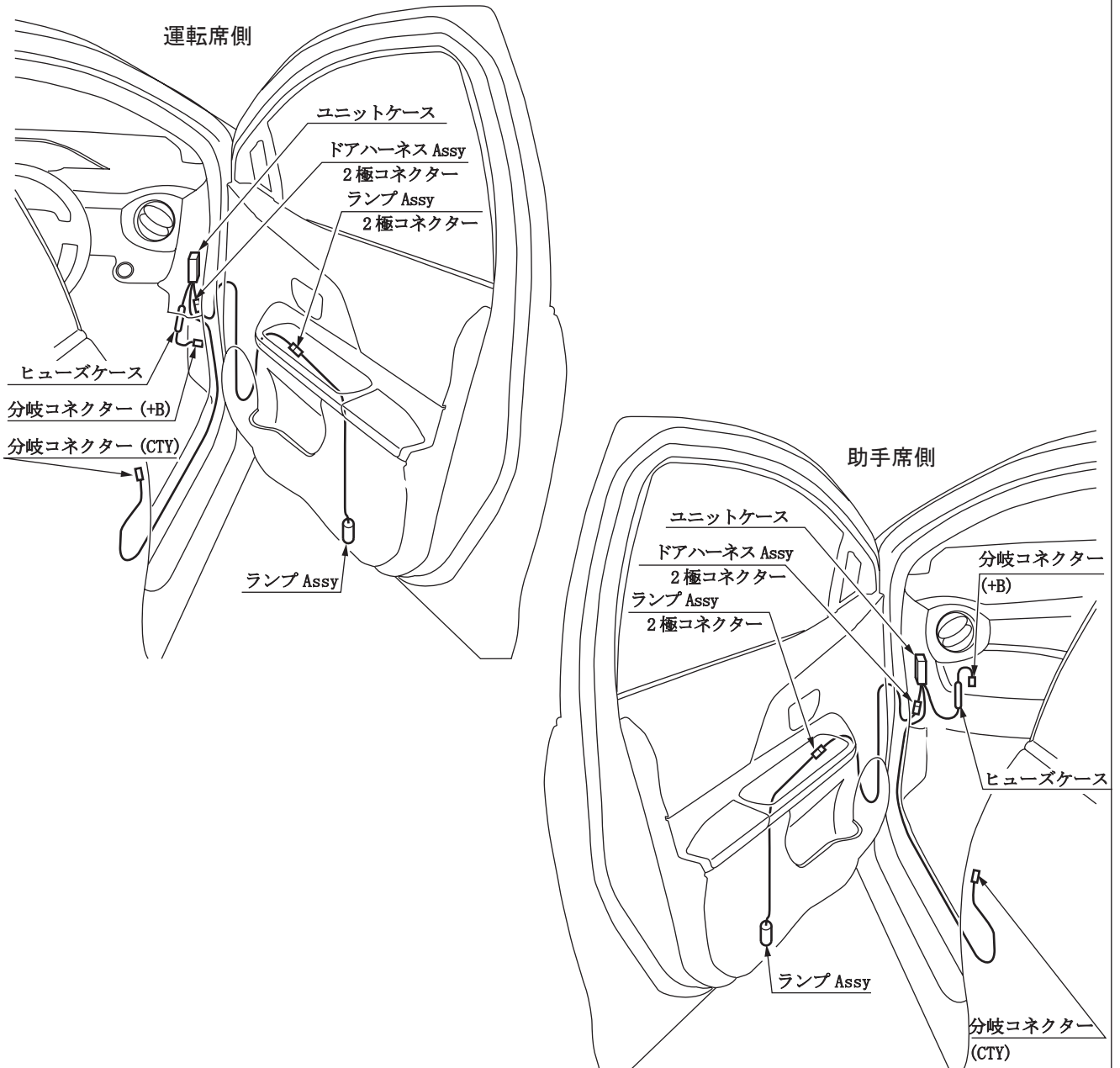
**1** 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。

**2** 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

**3** 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。  
(クリック音を確認)

**4** 分岐コネクタ接続位置を、テーピング処理してください。

# 配線概要



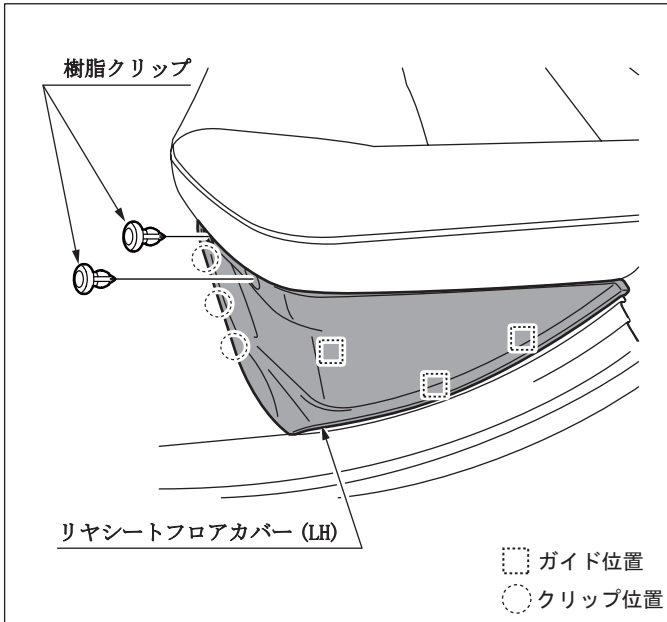
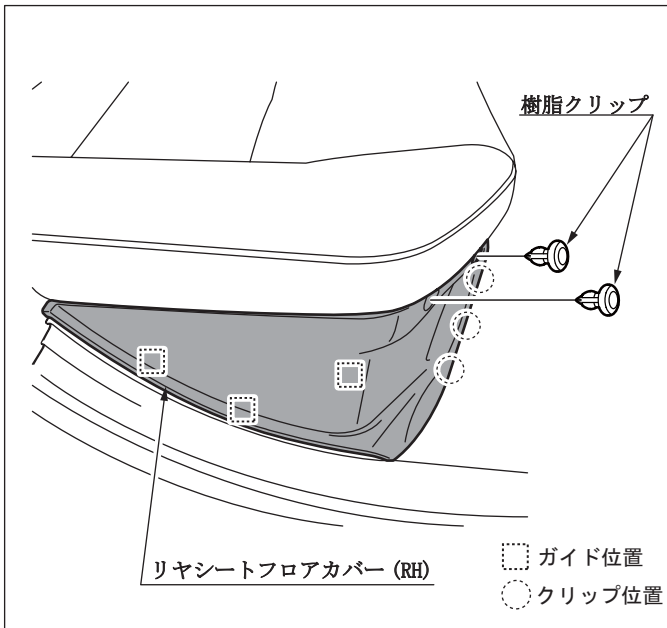
# 1 車両部品の取りはずし

## (1) リヤシートフロアカバー (RH)

- ① 樹脂クリップ (2ヶ所) をはずす。
- ② リヤシートフロアカバーを取りはずす。
- ③ 補機バッテリーの (-) 端子をはずす。

### ⚠ 注意

1. ナビ付車の場合、ナビ不良となる恐れがある為、必ず IG OFF 後に 6 分以上放置した後、補機バッテリーの (-) 端子を取りはずしてください。
2. エアバッグ作動の恐れがある為、補機バッテリーの (-) 端子をはずし、90 秒以上経過してから作業を行ってください。
3. 工具等でショートさせないように注意してください。

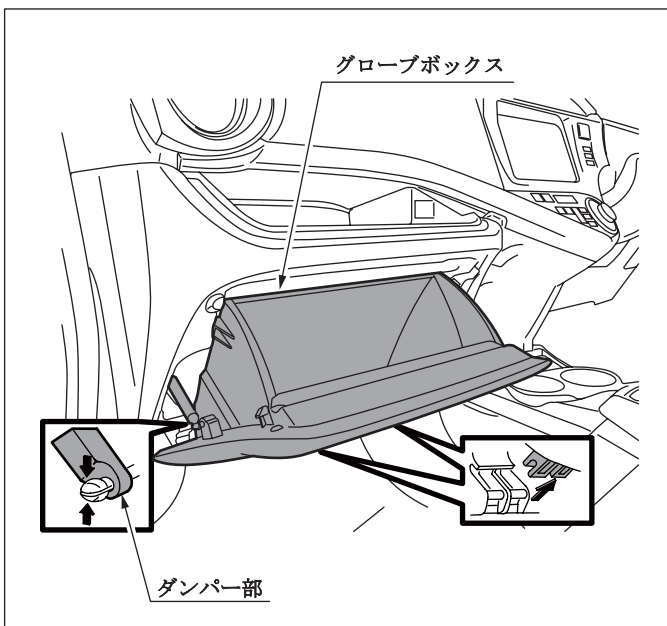


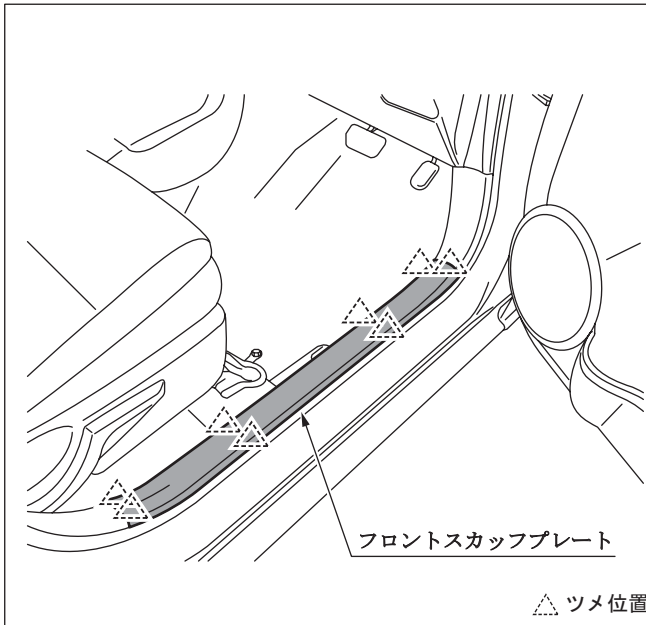
## (2) リヤシートフロアカバー (LH)

- ① 樹脂クリップ (2ヶ所) をはずす。
- ② リヤシートフロアカバーを取りはずす。

## (3) グローブボックス

- ① グローブボックスを開き、ダンパー部のかん合を解除する。
- ② グローブボックスを取りはずす。



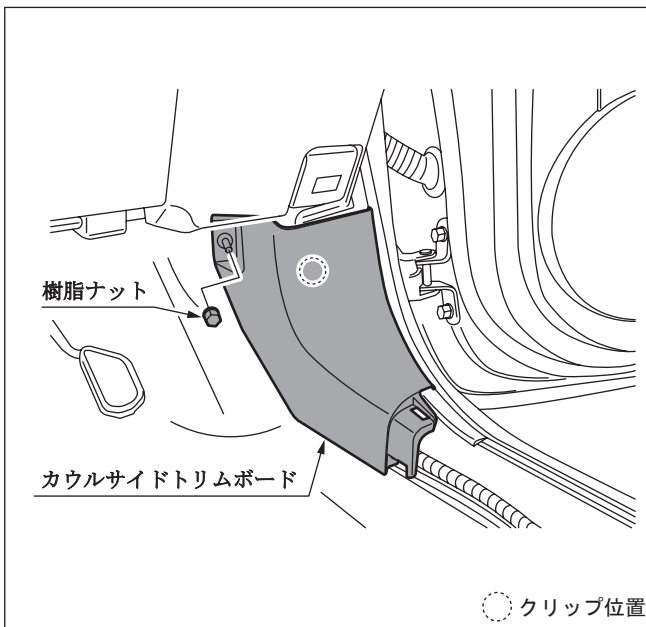


## (4) フロントスカッププレート (RH) (LH)

- ① フロントスカッププレートを取りはずす。

☞アドバイス

左図はフロントスカッププレート (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。

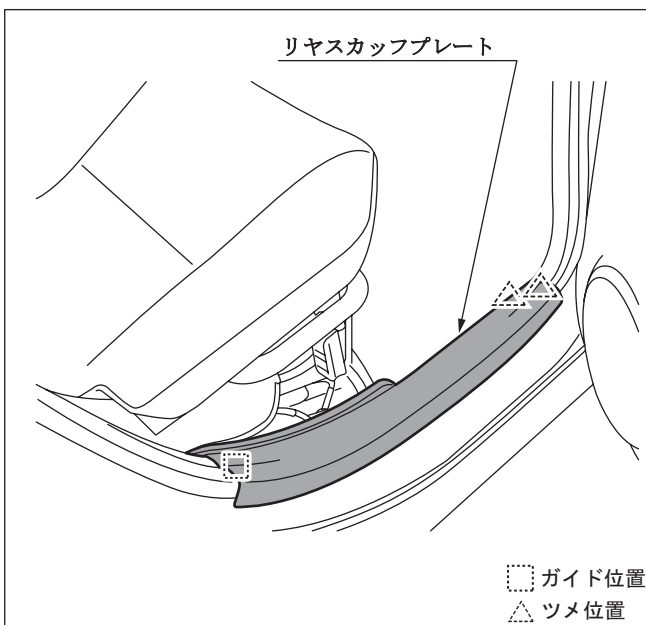


## (5) カウルサイドトリムボード (RH) (LH)

- ① 樹脂ナットをはずす。  
② カウルサイドトリムボードを取りはずす。

☞アドバイス

左図はカウルサイドトリムボード (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。

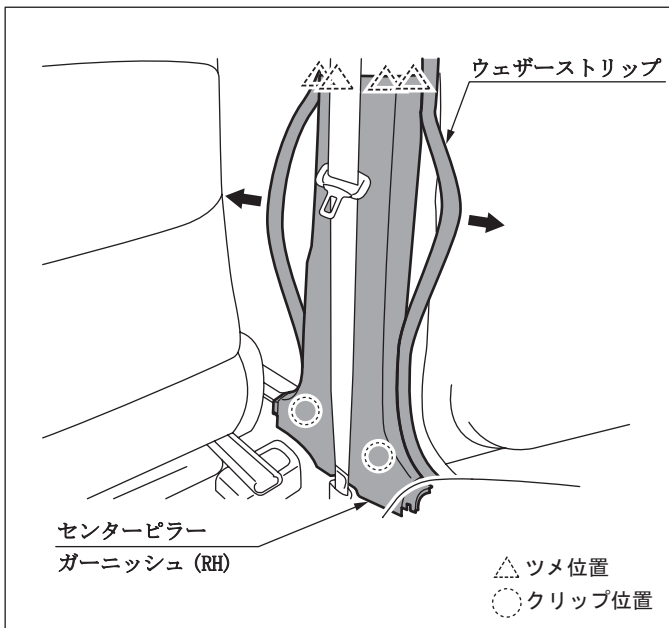


## (6) リヤスカッププレート (RH) (LH)

- ① リヤスカッププレートを取りはずす。

☞アドバイス

左図はリヤスカッププレート (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。

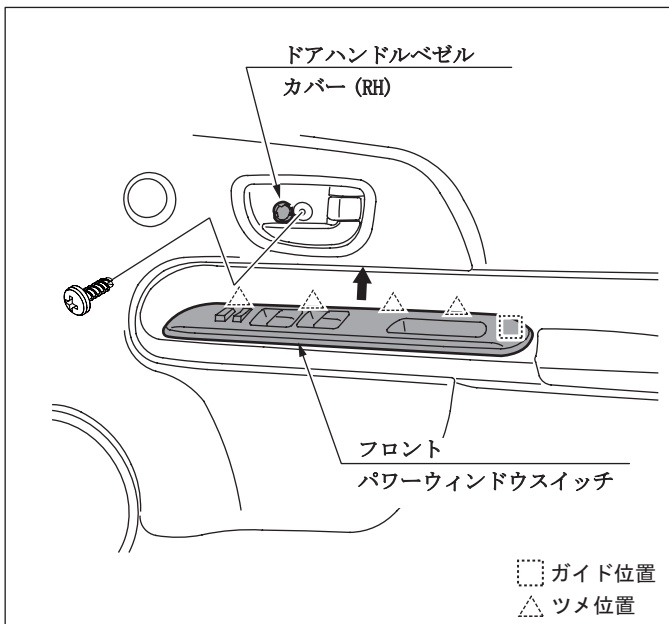


## (7) センターピラーガーニッシュ (RH) (LH)

- ① ウェザーストリップを浮かせる。
- ② センターピラーガーニッシュを取りはずせる位置まで、フロントシートを移動する。
- ③ センターピラーガーニッシュを取りはずす。

Ⓜアドバイス

左図はセンターピラーガーニッシュ (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。

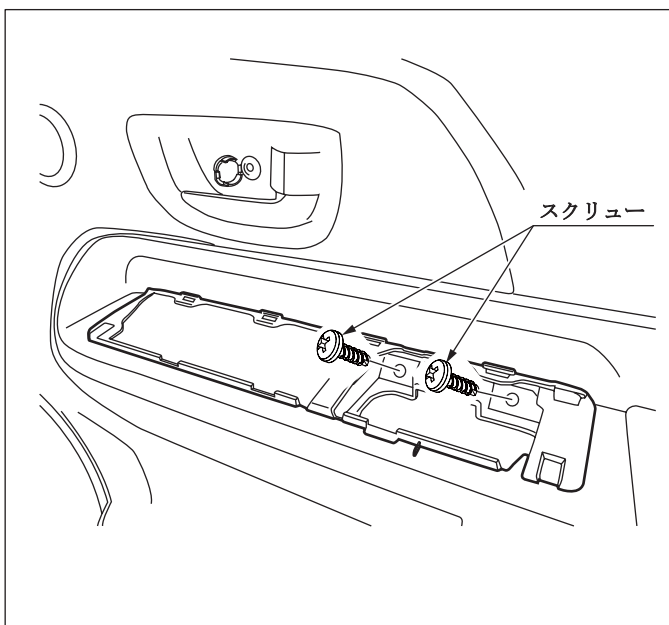


## (8) フロントドアトリム (RH) (LH)

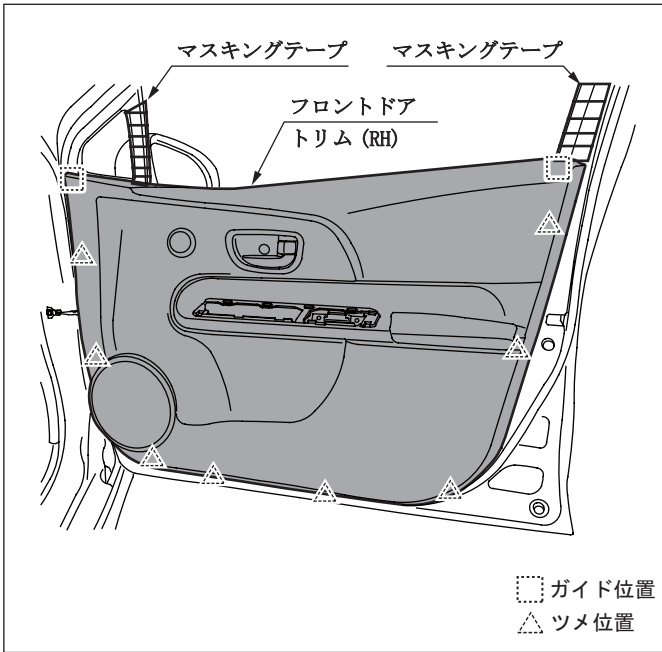
- ① ドアハンドルベゼルカバーを浮かせる。
- ② スクリュー1本をはずす。
- ③ フロントパワーウィンドウスイッチを取りはずす。

Ⓜアドバイス

左図はドアハンドルベゼルホールカバー (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。



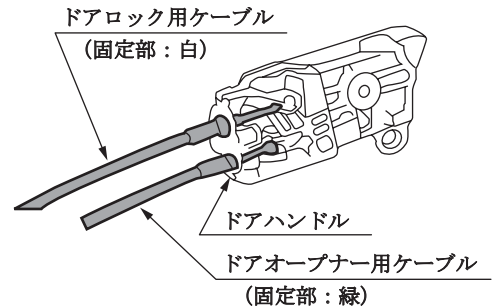
- ④ スクリュー2本をはずす。



- ⑤ 左図 部にマスキングテープ等を貼り、車両の傷付き防止作業を行う。
- ⑥ フロントドアトリムを取りはずす。

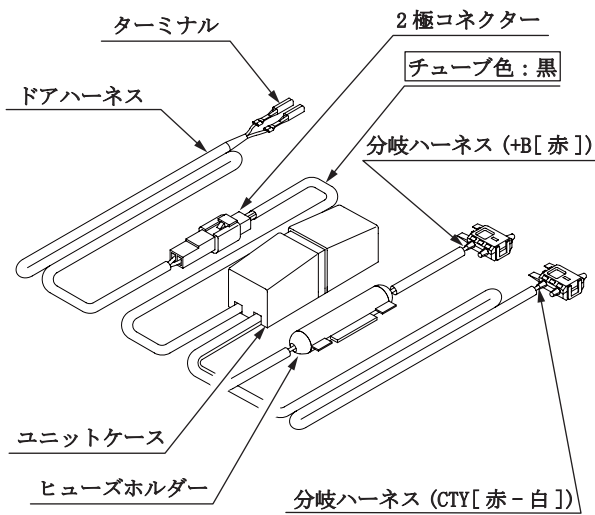
☞アドバイス

- 1. 左図はフロントドアトリム (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。

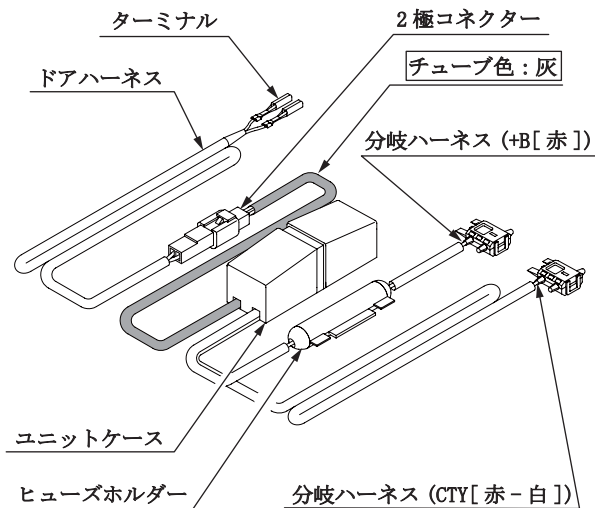


- 2. 復元時、ケーブルを逆に接続しないようご注意ください。

ユニットケース Assy 運転席側 構成部品②



ユニットケース Assy 助手席側 構成部品③



## 2 配線作業 (室内)

- (1) ユニットケース Assy の各部名称確認

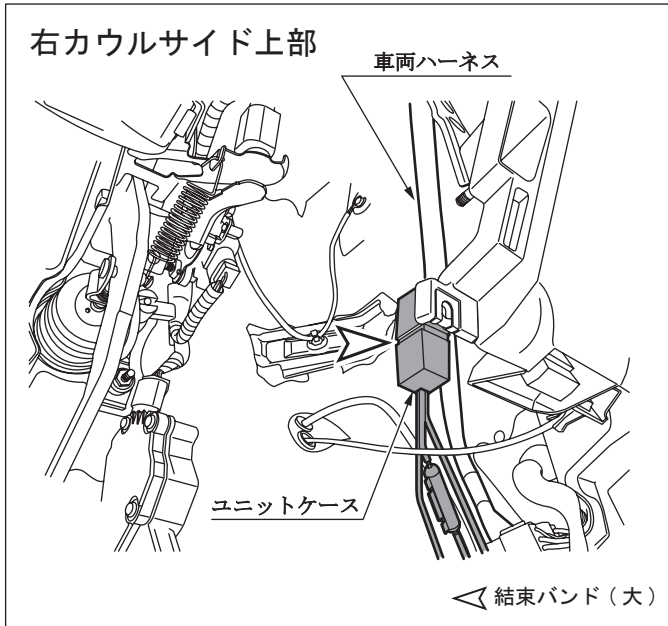
- ① ユニットケース Assy の各部名称を確認する。
- ② 2極コネクタを分離する。

☞アドバイス

ユニットケース Assy は、区別のために運転席側と助手席側で一部のチューブ色が異なります。取付前に、よく確認を行ってください。



## 右カウルサイド上部



## (2) ユニットケース Assy 運転席側の取り付け

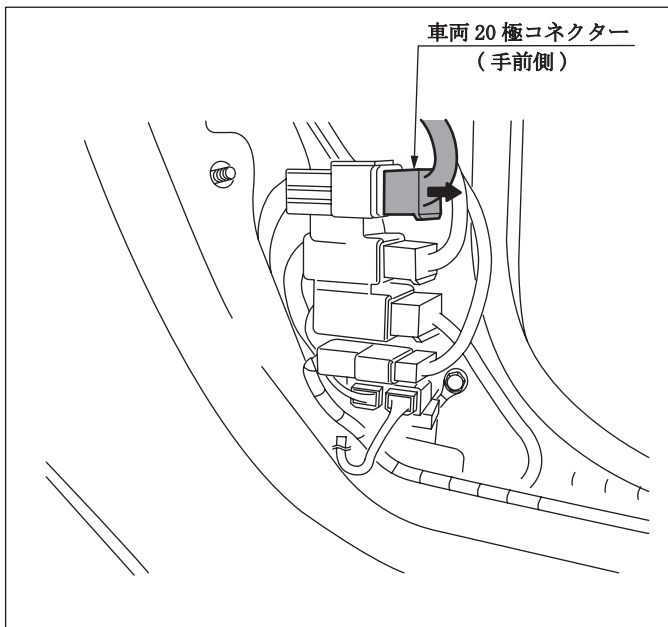
- ① ユニットケースを左図 <位置(1ヶ所)>で結束バンド(大)にて車両ハーネスに固定する。

## ⚠注意

ユニットケース中央部の凹部にあわせて結束バンドにて固定してください。

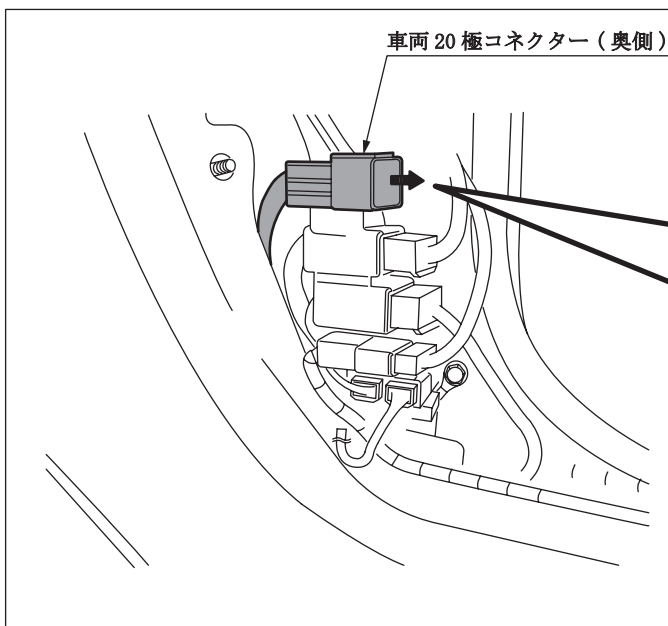
## (3) 車両 20 極コネクタ (手前側) の取りはずし

- ① カウルサイド部手前側の車両 20 極コネクタを抜く。

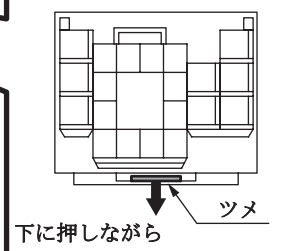


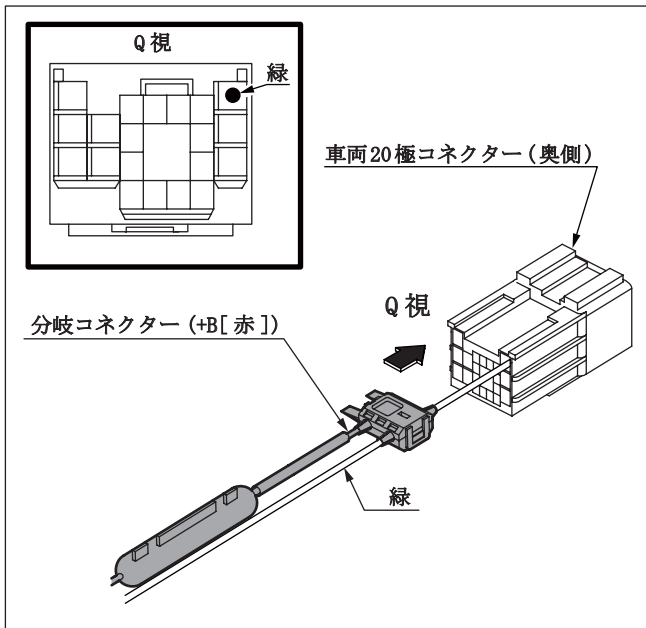
## (4) 車両 20 極コネクタ (奥側) の取りはずし

- ① カウルサイド部奥側の車両 20 極コネクタを、ツメを下に押しながらかん合を解除し、手前にスライドさせて取りはずす。



## 正面視





## (5) 分岐コネクタ (+B) の接続

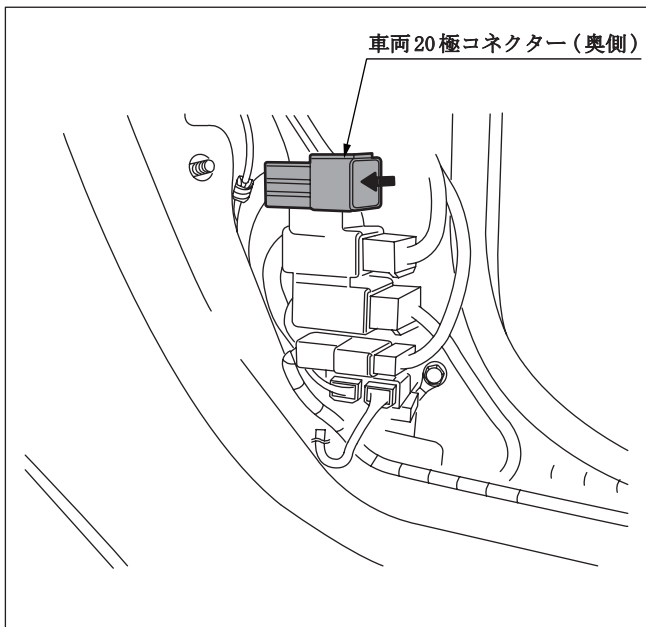
- ① 車両 20 極コネクタ (RH 奥側) のハーネス (線色: 緑) に、ユニットケース Assy の分岐ハーネス (+B [赤]) を接続する。

## ⓘ アドバイス

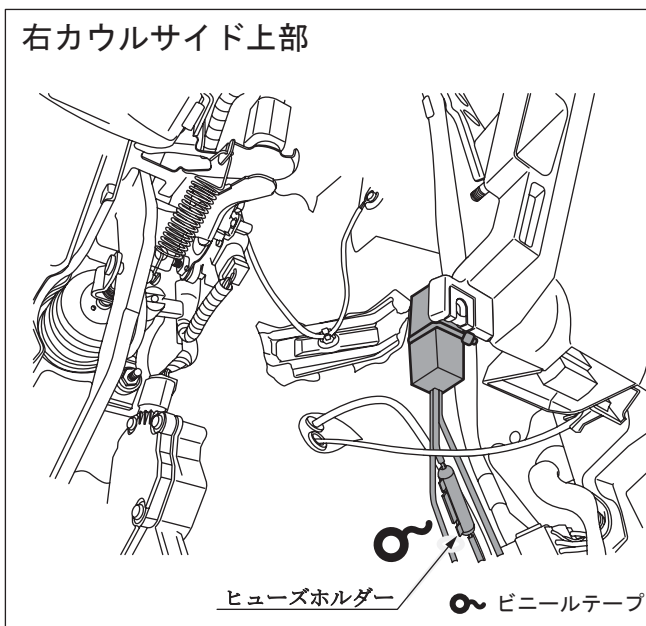
1. 巻頭の**分岐コネクタの接続手順**をお読みください。
2. 必ず左図イラストの接続位置を確認してから作業を行ってください。


## ⚠ 注意

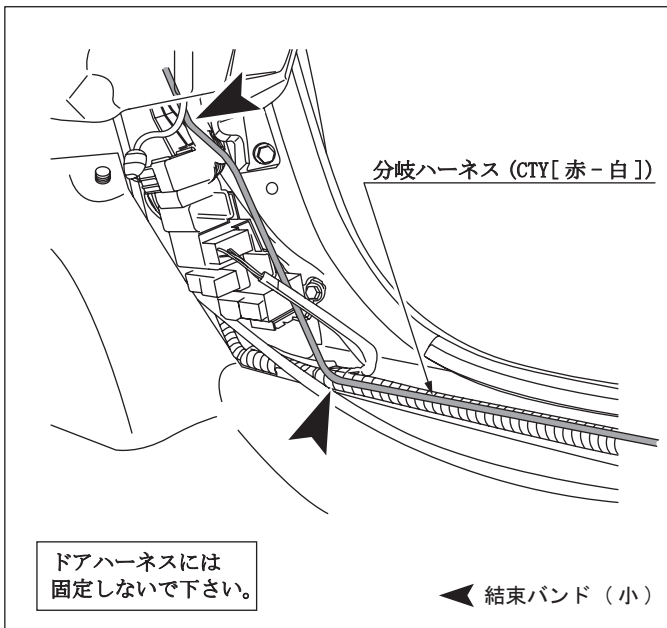
接続した分岐コネクタにビニールテープを巻き、保護してください。



- ② 車両 20 極コネクタ (奥側) を復元する。



- ③ ヒューズホルダー全体を包むように、左図  位置でビニールテープにて保護する。

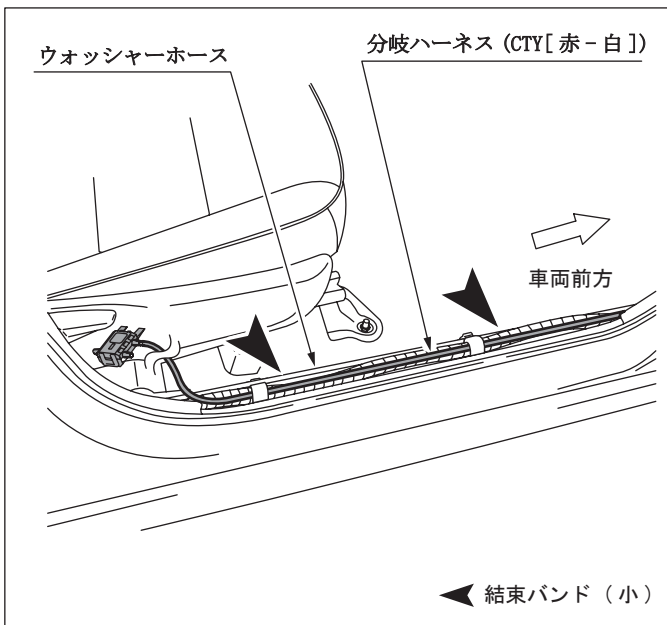


## (6) 分岐コネクタ (CTY) の接続

- ① 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) を左図のように配線し、左図 ◀ 位置 (2ヶ所) で結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。

## Ⓜアドバイス

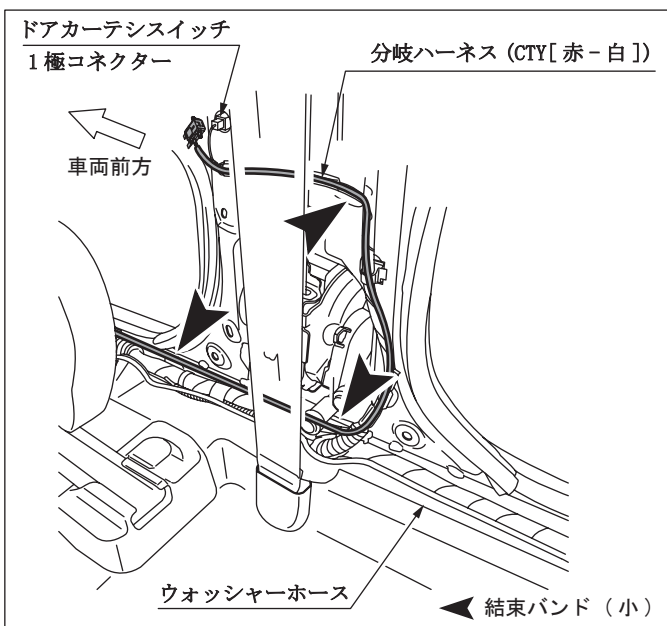
1. ドアハーネスには結束バンド固定しないでください。
2. 保護されていない車両ハーネスに結束バンド固定する際は、ビニールテープを巻いてから作業してください。



- ② 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) をリヤ側へ配線し、左図 ◀ 位置 (2ヶ所) で結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。

## Ⓜアドバイス

1. 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) は、つっぱらず、さらにたるみが金属面に干渉しないよう、配線してください。
2. スカッフプレート復元の際、ハーネスの噛み込みに注意してください。
3. ウォッシャーホースには結束バンド固定しないでください。

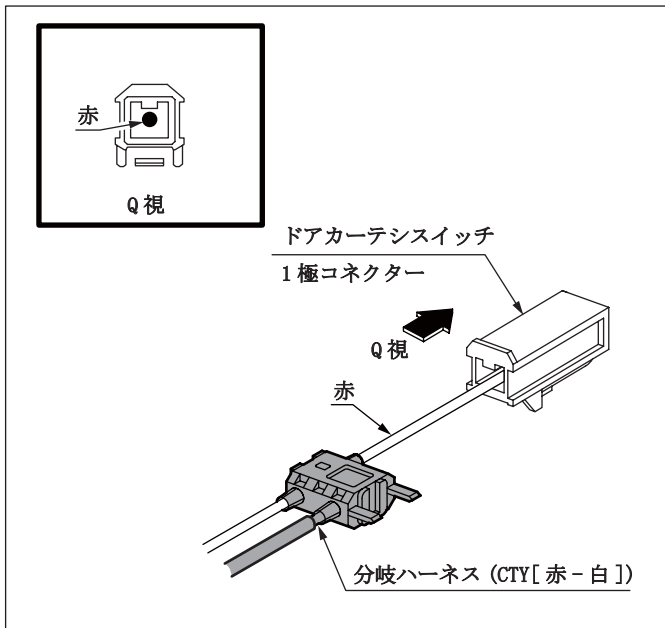


- ③ 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) を左図のように配線し、左図 ◀ 位置 (3ヶ所) で結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。

- ④ ドアカーテシスイッチに接続されている1極コネクタをはずす。

## Ⓜアドバイス

1. 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) は、つっぱらず、さらにたるみが金属面に干渉しないよう、配線してください。
2. センターピラーガーニッシュ、スカッフプレート復元の際、ハーネスの噛み込みに注意してください。
3. ウォッシャーホースには結束バンド固定しないでください。
4. 分岐ハーネスは、シートベルトの外側になるように配線してください。



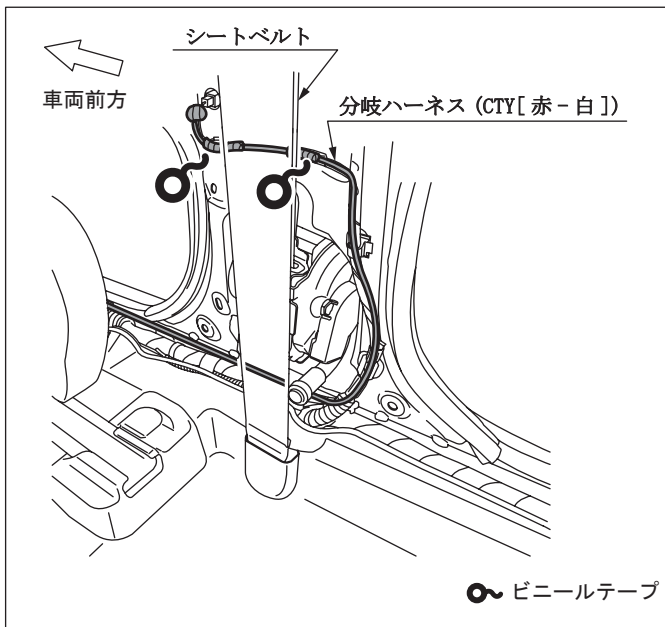
- ⑤ ドアカーテシスイッチ 1 極コネクタのハーネス（線色：赤）に、ユニットケース Assy の分岐ハーネス (CTY [ 赤 - 白 ]) を接続する。

【アドバイス】

巻頭の分岐コネクタの接続手順をお読みください。

⚠ 注意

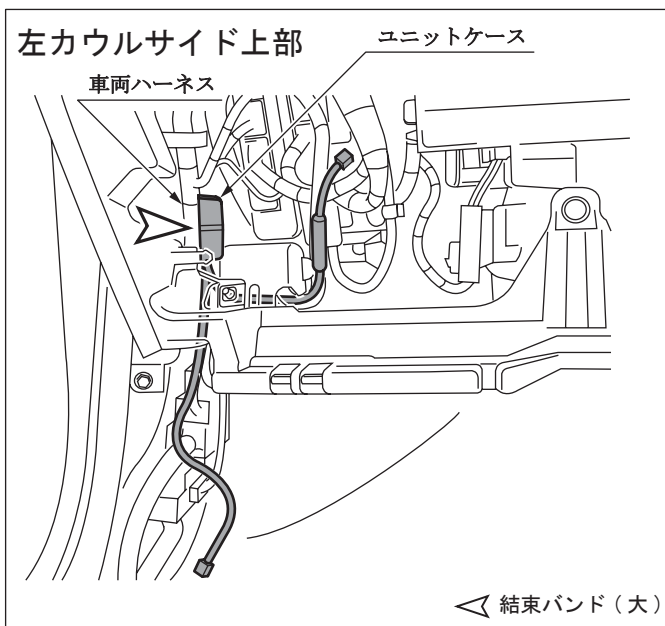
接続した分岐コネクタにビニールテープを巻き、保護してください。



- ⑥ 分岐コネクタハーネス (CTY) を、左図 〇 位置 (2ヶ所) でビニールテープにて、シートベルトに干渉しないように車両ハーネスに固定する。

⚠ 注意

車両シートベルトに分岐ハーネス (CTY [ 赤 - 白 ]) が干渉しないように、確実にビニールテープにて車両ハーネスに固定してください。

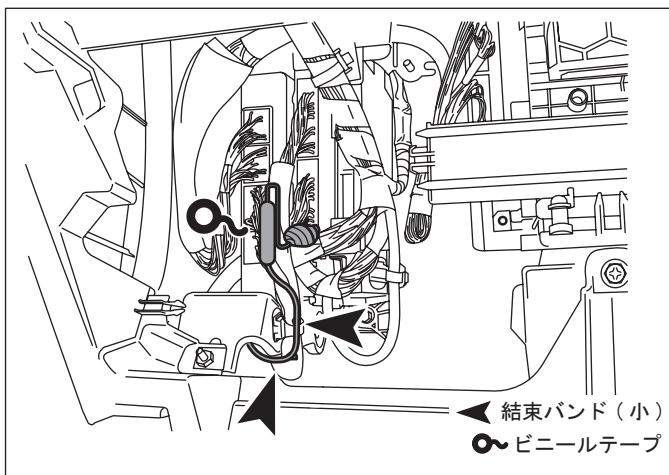
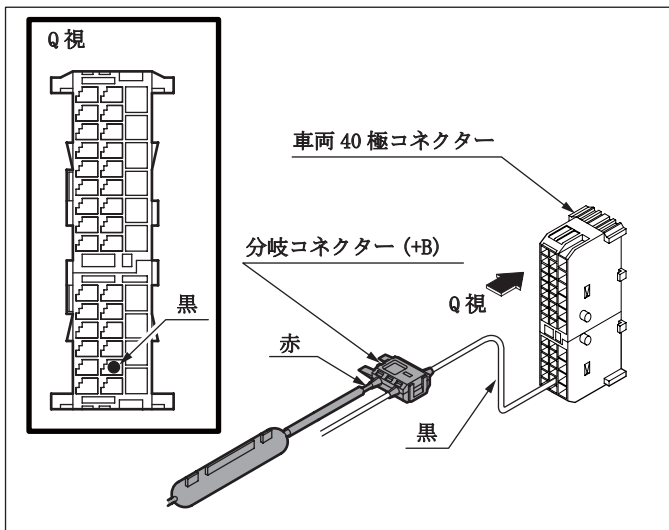
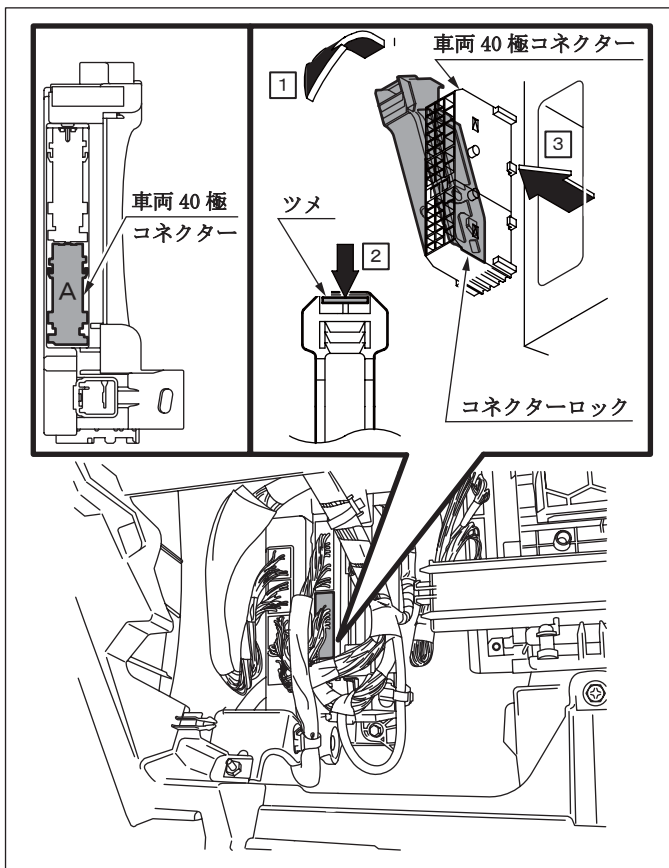


- (7) ユニットケース Assy 助手席側の取り付け

- ① ユニットケースを左図 < 位置 (1ヶ所) で結束バンド (大) にて車両ハーネスに固定する。

⚠ 注意

ユニットケース中央部の凹部にあわせて結束バンドにて固定してください。



## (8) 分岐コネクタ(+B) の接続

① 助手席側 J/B の A 部の車両 40 極コネクタを次の手順にて取りはずす。

- ① コネクタロックのツメを解除する。
- ② コネクタロックを手前に回転させる。
- ③ 車両 40 極コネクタを助手席 J/B から抜く。



② 車両 40 極コネクタのハーネス（線色：黒）に、ユニットケース Assy の分岐ハーネス（+B〔赤〕）を接続する。

※アドバイス

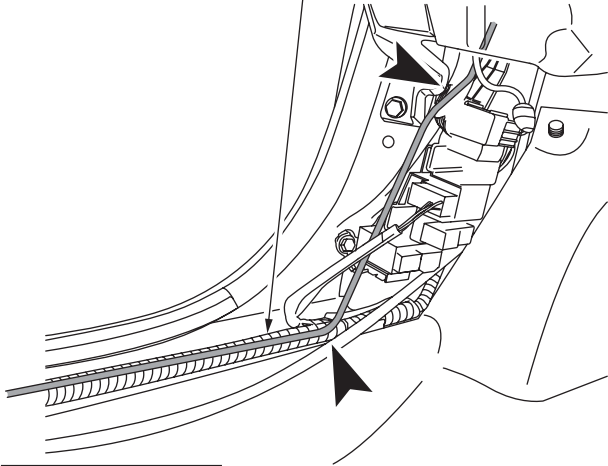
1. 巻頭の**分岐コネクタの接続手順**をお読みください。
2. 必ず左図イラストの接続位置を確認してから作業を行ってください。

⚠注意

接続した分岐コネクタにビニールテープを巻き、保護してください。

- ③ 車両 40 極コネクタを復元する。復元時、カチッと音がしロックした事を確認する。
- ④ ヒューズホルダー全体を包むように、左図  位置でビニールテープにて車両ハーネスに固定する。
- ⑤ 分岐ハーネス（+B〔赤〕）を左図のように配線し、左図  位置（2ヶ所）で結束バンド（小）にて車両ハーネスに固定する。

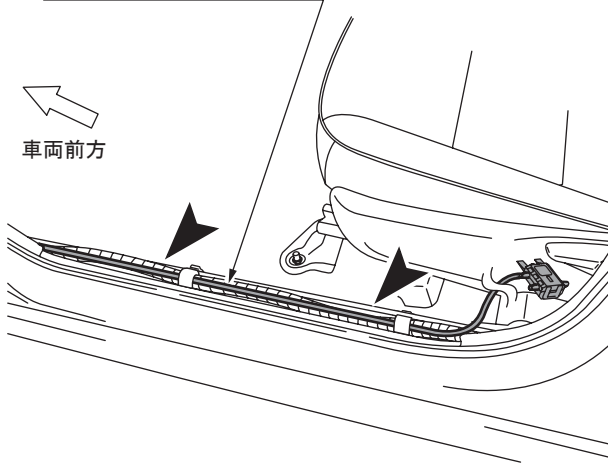
分岐ハーネス (CTY[赤-白])



ドアハーネスには  
固定しないで下さい。

◀ 結束バンド (小)

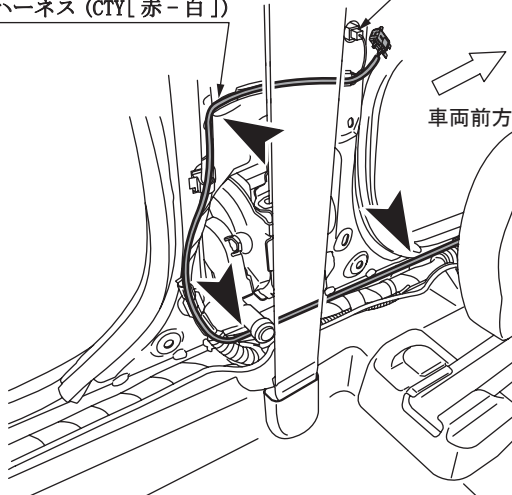
分岐ハーネス (CTY[赤-白])



車両前方

◀ 結束バンド (小)

ドアカーテシスイッチ  
1極コネクター  
分岐ハーネス (CTY[赤-白])



車両前方

◀ 結束バンド (小)

## (9) 分岐コネクター (CTY) の接続

- ① 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) を左図のように配線し、左図 ◀ 位置 (2ヶ所) で結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。

Ⓜアドバイス

1. ドアハーネスには結束バンド固定しないでください。
2. 保護されていない車両ハーネスに結束バンド固定する際は、ビニールテープを巻いてから作業してください。

- ② 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) をリヤ側へ配線し、左図 ◀ 位置 (2ヶ所) で結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。

Ⓜアドバイス

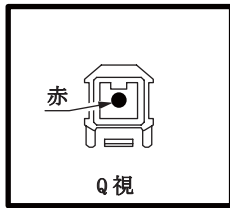
1. 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) は、つっぱらず、さらにたるみが金属面に干渉しないよう、配線してください。
2. スカッフプレート復元の際、ハーネスの噛み込みに注意してください。

- ③ ドアカーテシスイッチに接続されている1極コネクターをはずす。

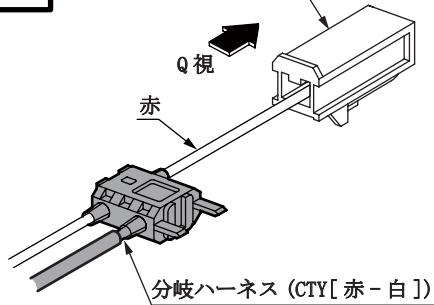
- ④ 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) を左図のように配線し、左図 ◀ 位置 (3ヶ所) で結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。

Ⓜアドバイス

1. 分岐ハーネス (CTY[赤-白]) は、つっぱらず、さらにたるみが金属面に干渉しないよう、配線してください。
2. センターピラーガーニッシュ、スカッフプレート復元の際、ハーネスの噛み込みに注意してください。
3. 分岐ハーネスは、シートベルトの外側になるように配線してください。



ドアカーテシスイッチ  
1極コネクタ



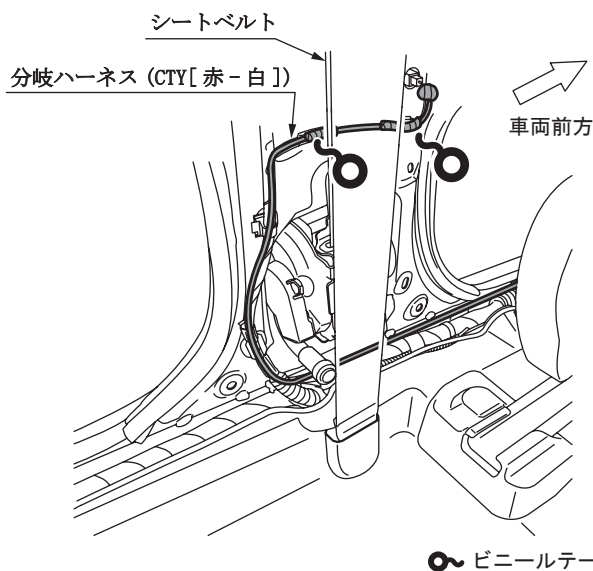
- ⑤ ドアカーテシスイッチ1極コネクタのハーネス（線色：赤）に、ユニットケース Assy の分岐ハーネス (CTY[赤-白])を接続する。

Ⓜアドバイス

巻頭の分岐コネクタの接続手順をお読みください。

⚠注意

接続した分岐コネクタにビニールテープを巻き、保護してください。



- ⑥ 分岐コネクタハーネス (CTY) を、左図 Ⓜ位置 (2ヶ所) でビニールテープにて、シートベルトに干渉しないように車両ハーネスに固定する。


⚠注意

車両シートベルトに分岐ハーネス (CTY[赤-白]) が干渉しないように、確実にビニールテープにて車両ハーネスに固定してください。

### 3 配線作業（フロントドア）

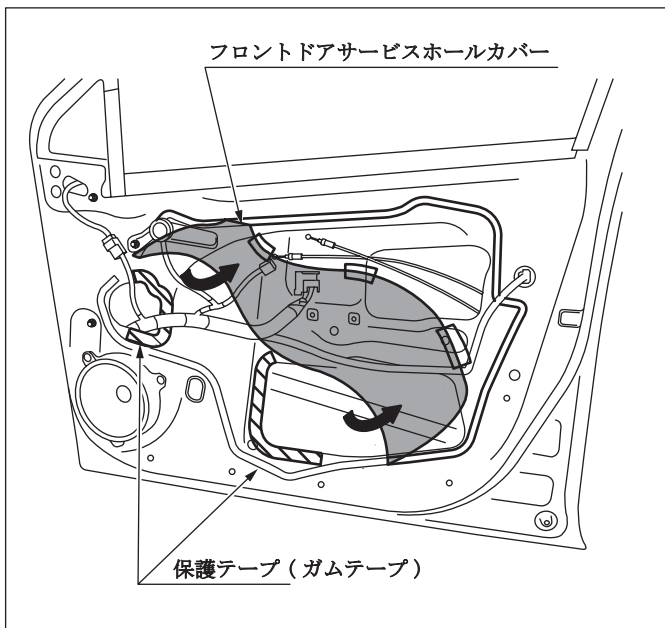
■配線作業（フロントドア）のイラストは、（RH）を示しています。（LH）も同様に作業を行ってください。

#### (1) フロントドアサービスホールカバーの移動

- ① フロントドアサービスホールカバーの左図指示部分をはがし、テープで仮固定する。
- ② 左図  部分のドアエッジに保護テープ（ガムテープ）を貼る。

☞アドバイス

左図はフロントドアサービスホールカバー（RH）を示していますが、（LH）も同様に作業を行ってください。

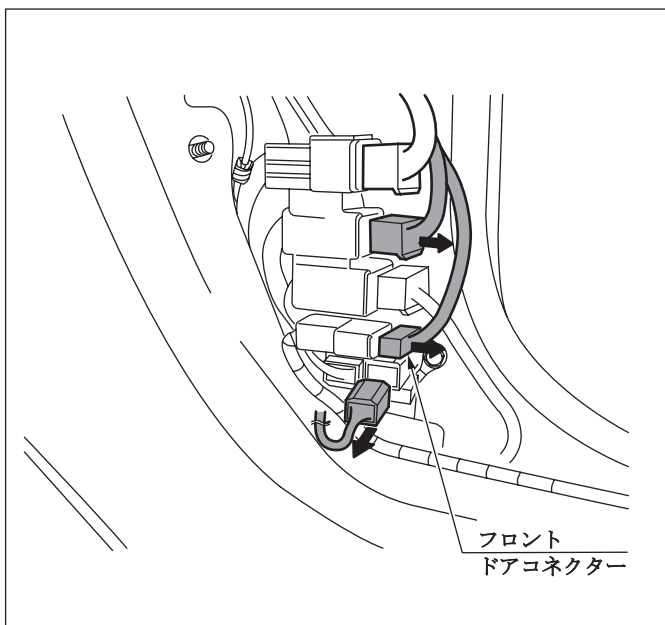


#### (2) フロントドアコネクタの取りはずし

- ① カウルサイド部に結合されているフロントドアコネクタ（3ヶ所）をはずす。

☞アドバイス

左図はフロントドアコネクタ（RH）を示していますが、（LH）も同様に作業を行ってください。フロントドアコネクタは、（RH）と（LH）で位置及び数が異なります。

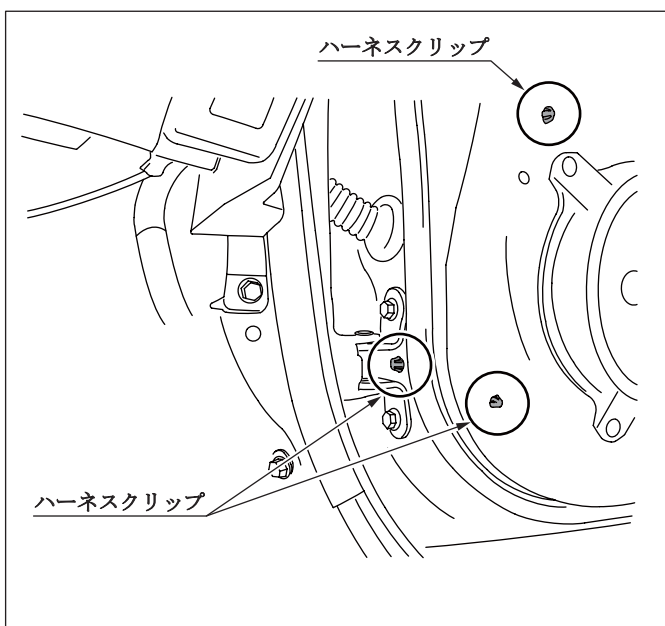


#### (3) フロントドアハーネスの移動

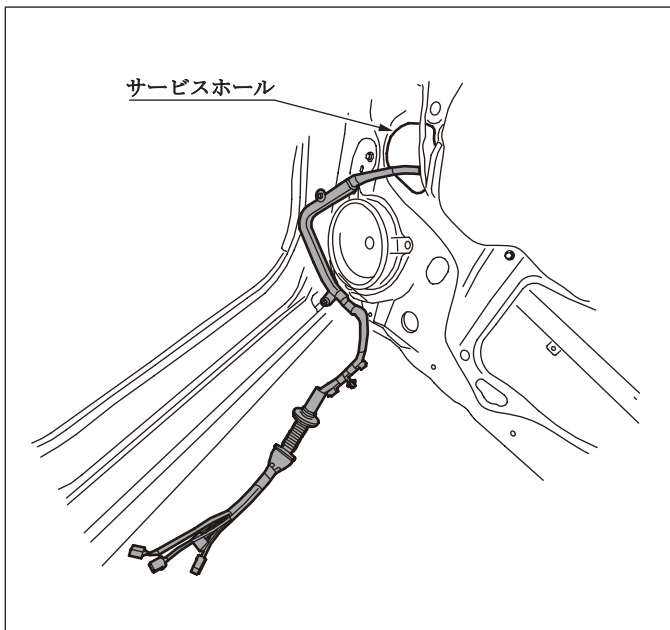
- ① 左図位置のフロントドアハーネスのハーネスクリップ部分（3ヶ所）を解除する。

☞アドバイス

左図はフロントドアハーネス（RH）を示していますが、（LH）も同様に作業を行ってください。







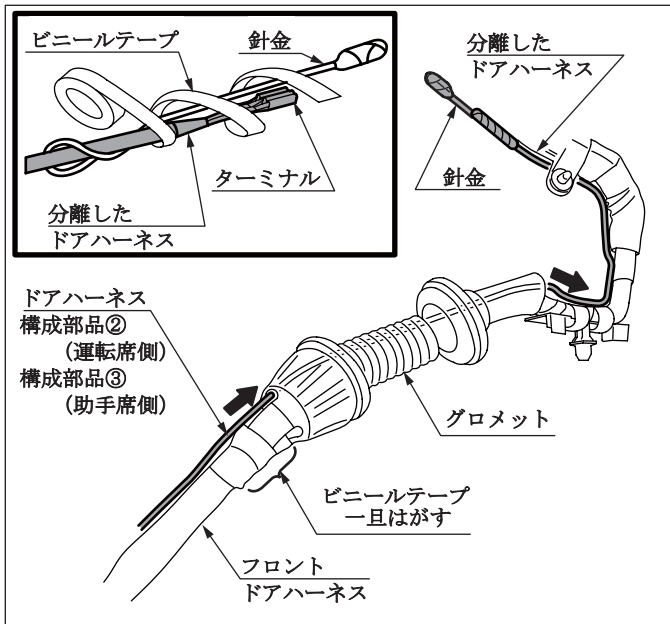
- ② 左図位置のサービスホールより、フロントドアハーネスを引き出す。

⚠注意

1. フロントドアハーネスを引き出す際、ドアエッジ等でケガをしないように注意してください。
2. フロントドアハーネスの被覆を傷つけないように引き出してください。

👉アドバイス

左図はフロントドアハーネス (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。



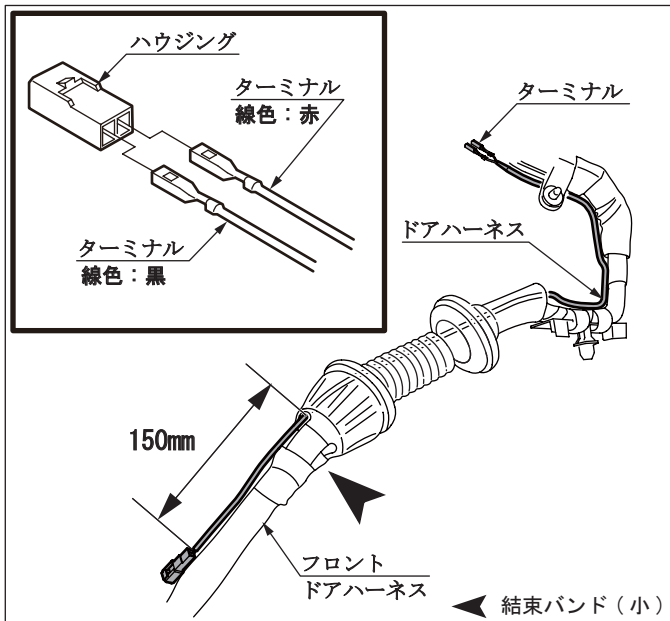
(4) 配線作業

- ① 分離したドアハーネスのターミナルに、針金をビニールテープで固定する。

👉アドバイス

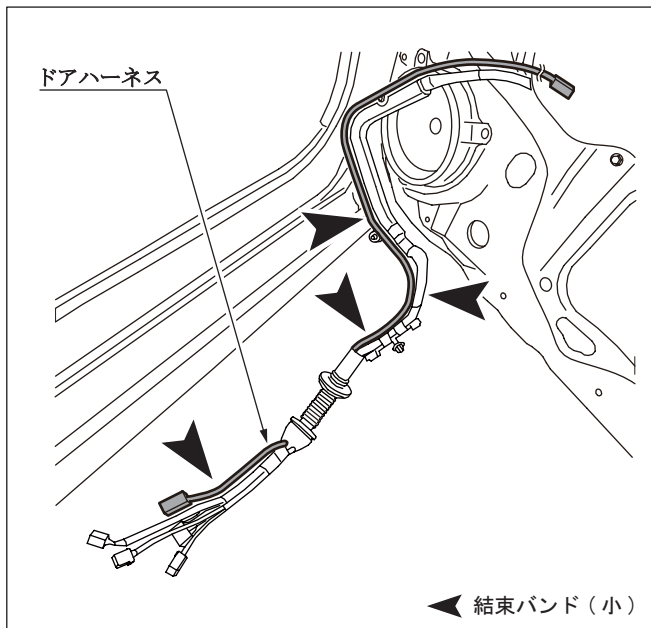
グロメット、ワイヤーハーネスの損傷防止のため、針金の先端を折り曲げてからテープ巻きを行ってください。

- ② 車両ハーネスのグロメットに巻かれているビニールテープを一旦はがし、ドアハーネスをグロメットに通す。  
③ (4)②ではがしたビニールテープを復元する。

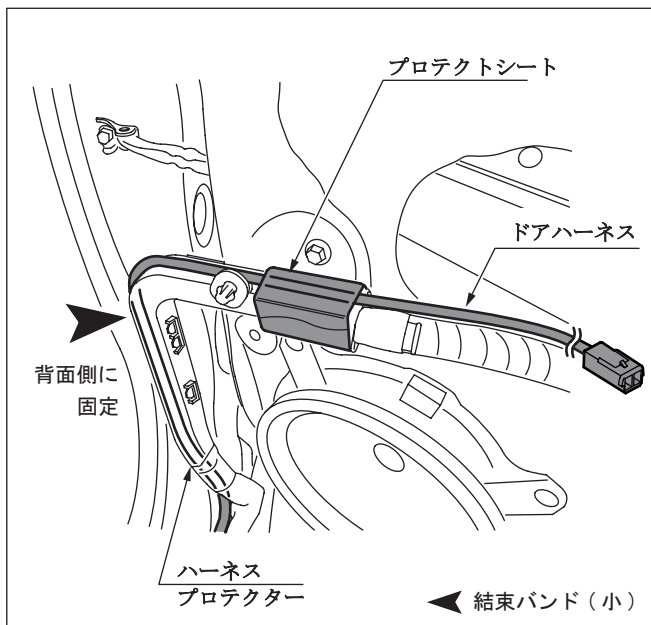


- ④ 左図のように、添付のハウジングにドアハーネスのターミナルを挿入し、カチッと音がしロックした事を確認する。

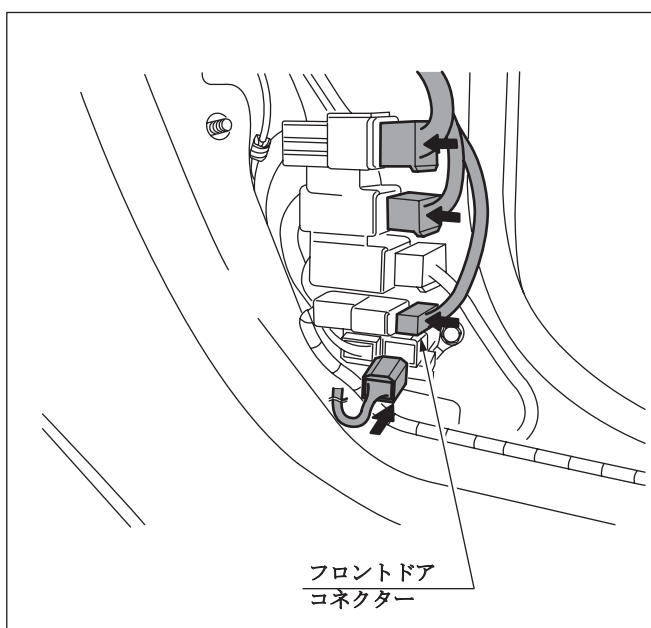
- ⑤ ハウジングを組み付けたドアハーネスを、フロントドアハーネスのグロメットから左図寸法に調整し、◀部 (1ヶ所) で結束バンド (小) にてフロントドアハーネスに固定する。



- ⑥ ドアハーネスを左図のように配線し、◀部(4ヶ所)で結束バンド(小)にてフロントドアハーネスに固定する。



- ⑦ ドアハーネスを左図のように配線し、◀部(1ヶ所)で結束バンド(小)にてハーネスプロテクター背面側に固定する。
- ⑧ 左図のようにドアハーネスを配線し、プロテクトシートにてハーネスプロテクターに固定する。

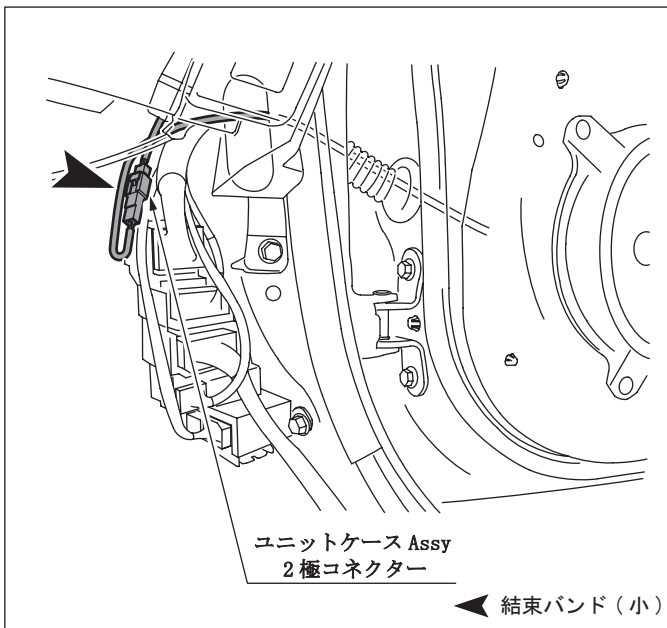


(5) フロントドアハーネスの復元

- ① フロントドアハーネスを復元する。
- ② すべてのフロントドアコネクタを復元する。復元時、カチッと音がしロックした事を確認する。

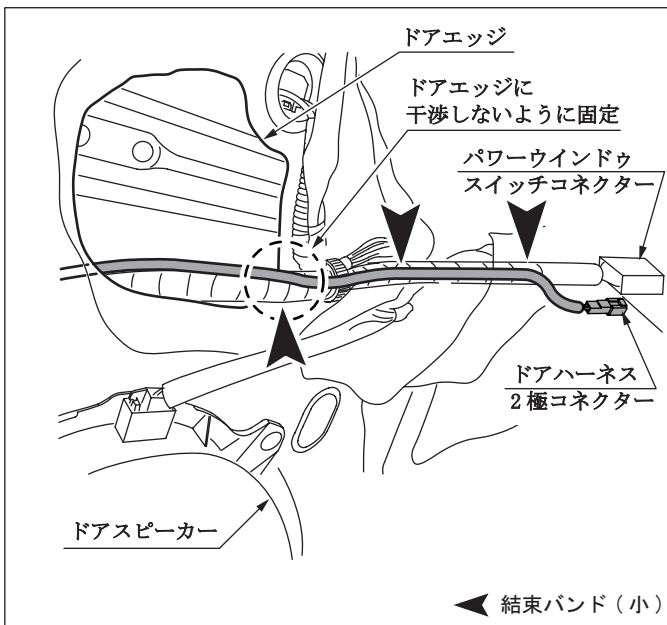
Ⓜアドバイス

左図はフロントドアコネクタ (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。フロントドアコネクタは、(RH) と (LH) で位置及び数が異なります。



## (6) 2極コネクタの接続

- ① 2-(1)-②で分離したユニットケース Assy の 2 極コネクタを 接続する。接続時、カチッと音がしロックした事を確認する。
- ② 接続したコネクタ部を左図のように配線し、◀ 部 (1ヶ所) を結束バンド (小) にて車両ハーネスに固定する。



## (7) ドアハーネスの固定

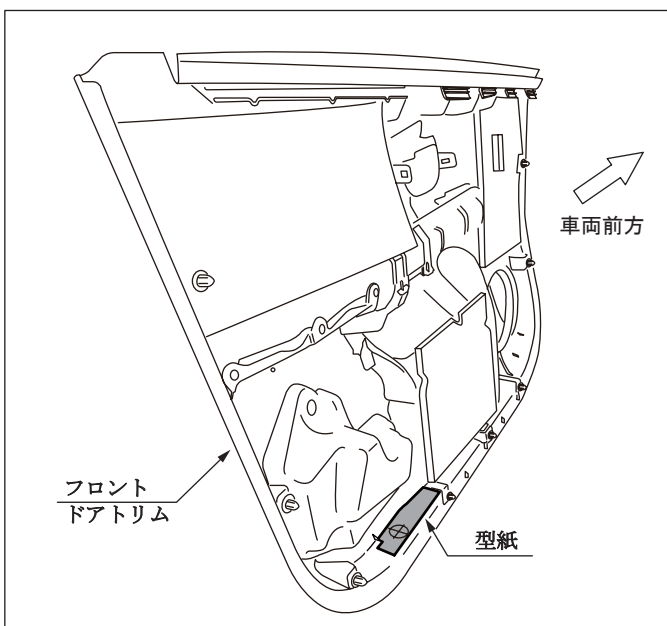
- ① ドアハーネスを左図のように配線し、◀ 部 (3ヶ所) を結束バンド (小) にてフロントドアハーネスに固定する。

## ⚠注意

イラストのように、ドアエッジに干渉しないよう手前側に固定してください。

## 👉アドバイス

ドアハーネス 2 極コネクタが、パワーウィンドウコネクタ位置になるようにドアハーネスを固定してください。



## 4 ランプ Assy の取り付け

## (1) マーキング作業

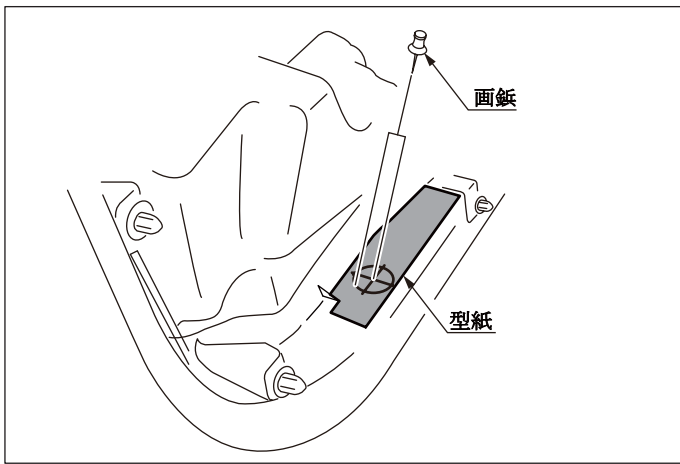
- ① 別紙の型紙を切り離し、フロントドアトリムの裏側に基準線を合わせて貼り付ける。

## ⚠注意

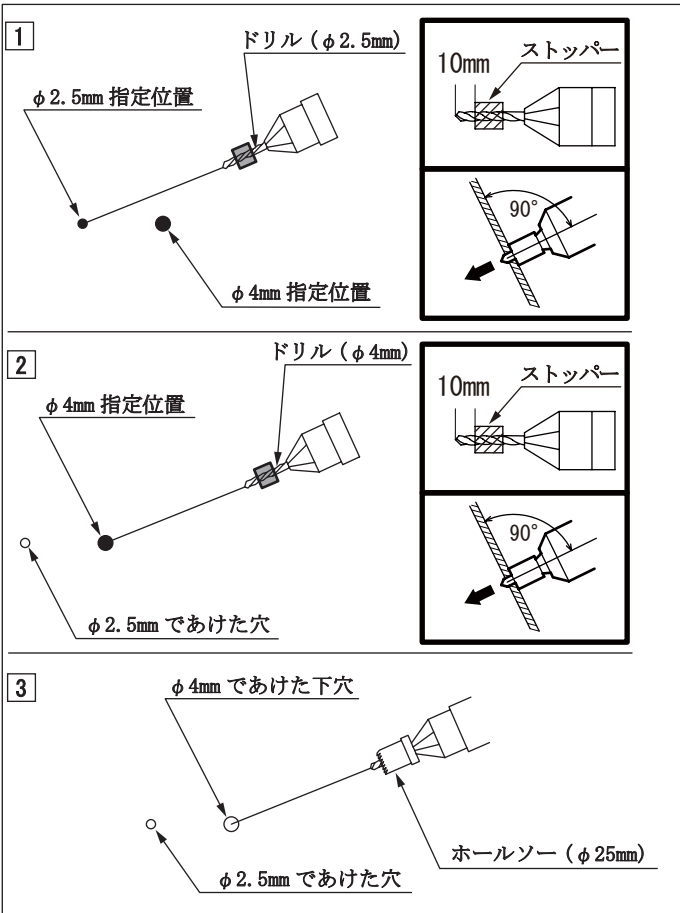
ドアトリム表側にキズを付けないように作業を行ってください。

## 👉アドバイス

1. 型紙には、[運転席側]と[助手席側]がありますので間違いのないように貼り付けてください。
2. 左図はフロントドアトリム (RH) を示していますが、(LH) も同様に作業を行ってください。



- ② 型紙の穴あけ指定位置 (2ヶ所) に画鋏にて穴をあける。

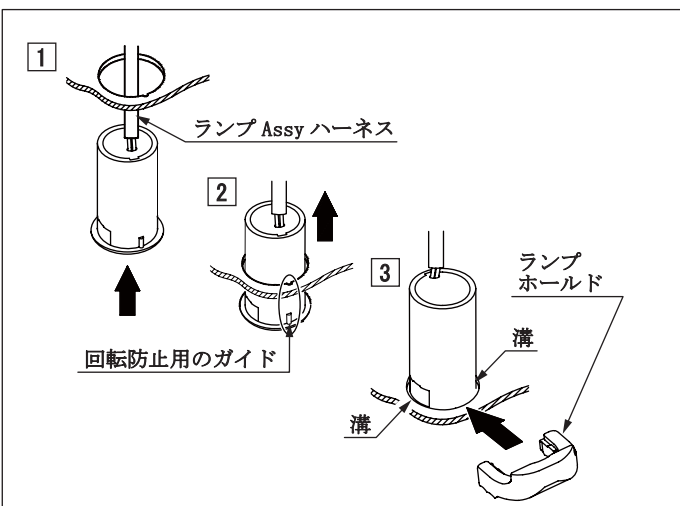


## (2) 穴あけ作業

### ⚠注意

穴あけ位置と寸法が異なります。  
型紙をよく確認し、間違いのないよう注意して作業してください。

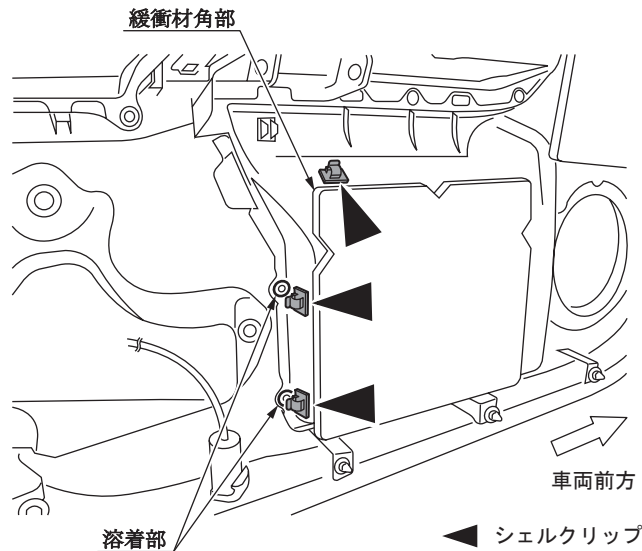
- 1 ドリル (φ2.5mm) の先端部から 10mm の位置にガムテープを巻いてストッパーをつけ、型紙の φ2.5mm 指定位置に穴をあける。
- 2 ドリル (φ4mm) の先端部から 10mm の位置にガムテープを巻いてストッパーをつけ、型紙の φ25mm 指定位置の中心に φ4mm の下穴をあける。
- 3 φ4mm であけた下穴にホールソー (φ25mm) にて穴をあけ、バリを修正する。



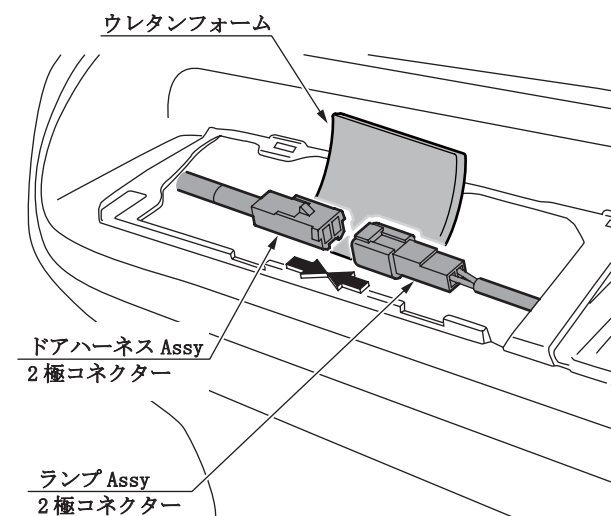
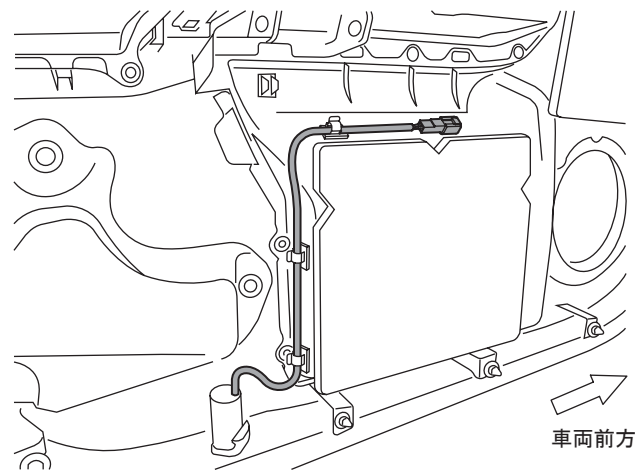
## (3) ランプ Assy の固定

- 1 ランプ Assy のハーネスを (2) - ③ で開けた穴に通す。
- 2 回転防止用のガイド位置を合わせてランプ Assy を差し込む。
- 3 ランプ Assy の溝部分にランプホルドを取り付け、固定する。

## フロントドアトリム裏面視



## フロントドアトリム裏面視



## (4) ランプ Assy ハーネスの固定

- ① 左図 ◀ 位置 (3ヶ所) のように、溶着部の高さ及び緩衝材角部に合わせてシェルクリップを貼る。

## ⚠️ アドバイス

シェルクリップを貼り付ける前に、貼り付け面の脱脂を行ってください。

- ② 左図のようにランプ Assy のハーネスを配線し、シェルクリップ (3ヶ所) にて固定する。

## (5) コネクタの接続

- ① ランプ Assy の 2 極コネクタとドアハーネス Assy の 2 極コネクタを接続する。接続時、カチッと音がしロックした事を確認する。
- ② 接続した 2 極コネクタにウレタンフォームを巻く。
- ③ フロントドアトリムを復元する。

## ⚠️ 注意

1. 配線や取り付けに異常がないか点検する。
2. 特に車両ハーネス及び用品ハーネスを無理やり押ししたり、引っ張ったり、噛み込んだりしていないか点検する。
3. 結束バンドのはずれや、部品の締め付け忘れはないかもう一度確認する。

## ■取付完了後の確認

### 1. 取付の確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検する。
- (2) 特に車両ハーネス及び用品ハーネスを無理やり押ししたり、引っ張ったり、噛み込んだりしていないか点検する。
- (3) 結束バンドのはずれや、部品の締め付け忘れはないかももう一度確認する。

### 2. 作動確認

- (1) バッテリーの(－)端子を接続し、下記方法により確認する。
  - (2) 運転席のドアを開けるとすぐ点灯し、フロントドアカーテシスイッチを押すと消灯する。
  - (3) 助手席のドアを開けるとすぐ点灯し、フロントドアカーテシスイッチを押すと消灯する。
- ※開いたドア側のランプが点灯します。

## ■復元作業

### 1. 車両部品の復元

「作動確認」完了後、取りはずした部品を元通りに取り付けてください。ただし、下記の点に注意して作業を行ってください。

- ・復元作業に伴うハーネス（車両側及び用品側）の噛み込み。
- ・車両部品の損傷。

### 2. バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な装備があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

## ■最終確認

	確 認 項 目	チェック欄
1	取りはずした車両部品は確実に復元されているか？	
2	ユニットケース Assy は確実に取り付けられているか？	
3	コネクタの接続は確実か？	
4	結束バンドの固定は確実か？	
5	固定したハーネスにたるみはないか？	

## ■ トラブルシュート

### 1 点灯しない

運転席（助手席）のドアは開いていますか？

NO

運転席（助手席）のドアを開いてください。

YES

用品コネクターは取付要領書通りに確実に接続されており、ヒューズは切れていませんか？

NO

用品コネクターを確実に接続し、ヒューズを点検・交換してください。

YES

ランプ Assy、またはユニットケース Assy の故障 / 不良と思われます。  
グラウンドイルミネーションをセットで交換してください。

※開いたドア側のランプが点灯します。

### 2 消灯しない

運転席（助手席）のドアは閉まっていますか？

NO

運転席（助手席）のドアを確実に閉めてください。

YES

用品コネクターは取付要領書通りに確実に接続されていますか？

NO

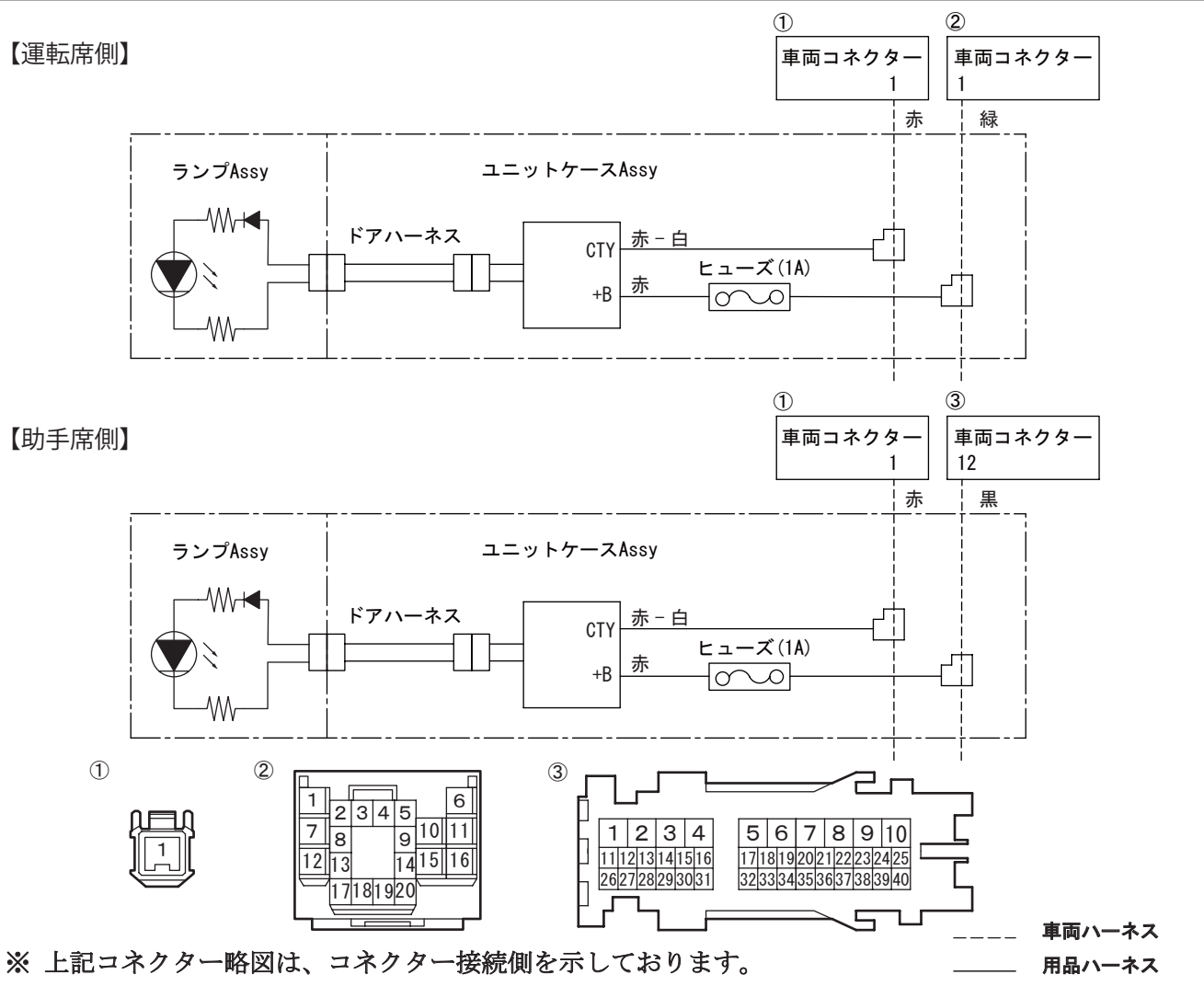
用品コネクターを取付要領書通りに確実に接続してください。

YES

ユニットケース Assy の故障 / 不良と思われます。  
グラウンドイルミネーションをセットで交換してください。

※閉じたドア側のランプが消灯します。

# 配線図



# 仕様

項目	仕様
定格電圧	DC12.0V
消費電力	0.6W (1灯あたり)
使用電圧範囲	DC10.0V ~ 16.0V
使用温度範囲	-20℃ ~ +60℃
使用光源	LED
質量	250g

※ 仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

・車両、製品の仕様などの変更により、本書の内容と一致しない場合がありますのでご了承ください。  
 監修 トヨタテクノクラフト株式会社  
 発行年月 2014年 11月